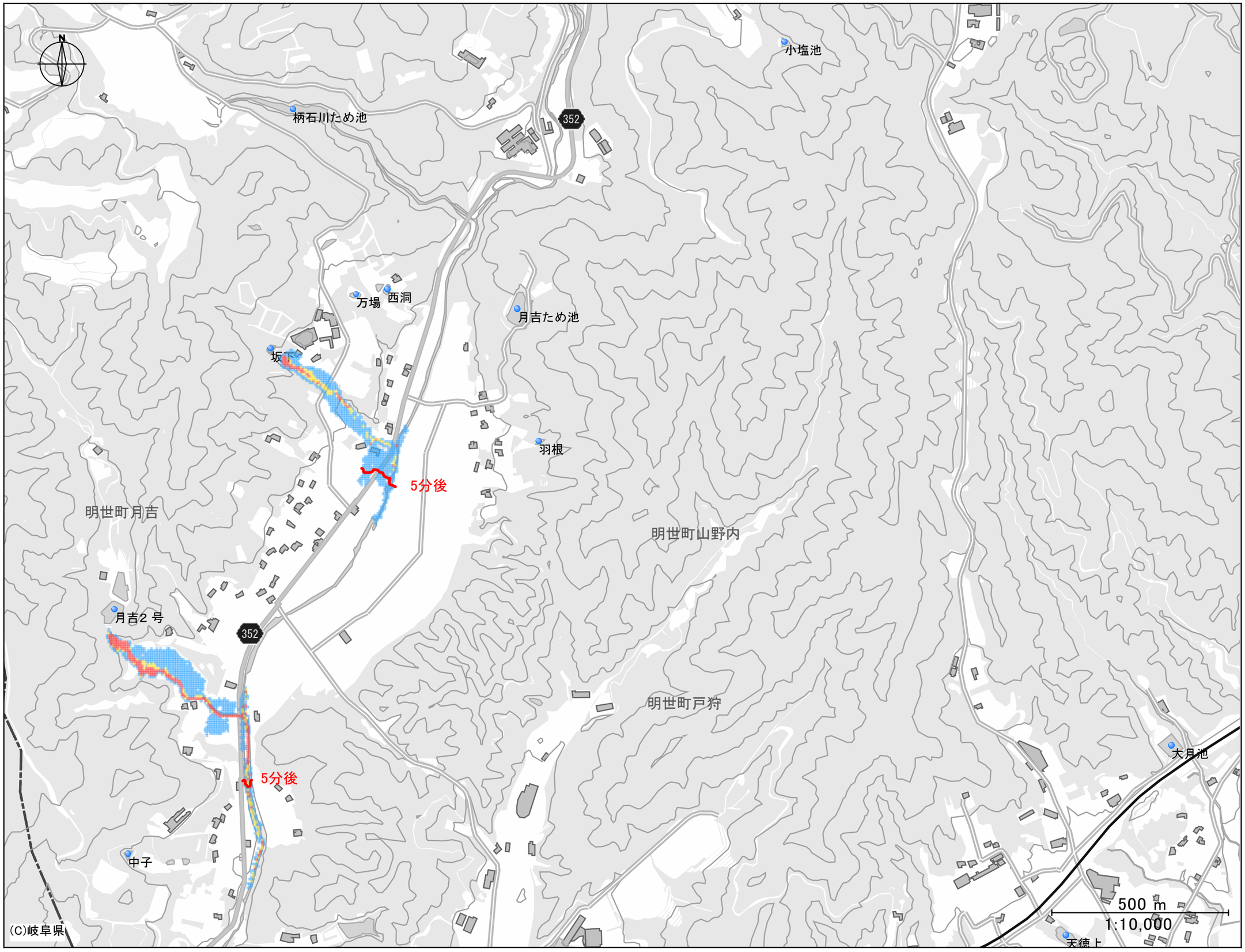
ため池浸水想定区域図

坂下・月吉2号



歩行困難判定	水が浸かる深さ 浅い	0.5m	深い 1.0m
水が流れる速さ 遅い 0.5m/s	可能		
1.5m/s		困難	
速い			危険

どんな時に避難するの？

立っていられない大きな地震の時

ため池に近い地区では、揺れが収まった直後（あるいは、揺れが長く継続するような場合には揺れている最中）に氾濫水が到達する場合もあります。立っていられないような強い揺れを受けた場合には、できる限り早く浸水想定区域の外に退避しましょう。

前が白くなるような大雨が続いたとき

強い雨が降っている場合には、河川の増水に加えて、ため池の堤体決壊による氾濫水も念頭において、あらかじめ浸水想定区域の外の高い場所に避難するようにしましょう。

日頃からの準備はできていますか？

住み慣れた家でも、いざ避難しようとすると、慌ててしまいがちです。いざという時に慌てないためにも、避難方法や避難経路、避難場所を家族みんなで話し合っておきましょう。

また、非常持ち出し用品、服、履物など、いつも取り出しやすい一定の場所に保管し、保存期間や季節によって交換、補充しておきましょう。

この地図は、満水位の農業用ため池の堤体が地震による被害を受けて決壊した場合に氾濫水が到達すると想定される範囲を、農村工学研究所開発の「ため池ＤＢハザードマップ」簡易氾濫解析ソフトにより示したものです。

実際に氾濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害の程度、周辺の土地の利用状況等により、この地図と異なる可能性があります。

発行	平成28年度
作成者	農地整備課
問い合わせ先	東濃農林事務所